



学校だより

〒952-1311 新潟県佐渡市八幡 2002 番地
Tel 0259-57-2602 Fax 0259-57-2604 <http://yahata-es.sado.ed.jp/>

声に出して勉強する

校長 渡部 栄二

学校に子どもたちのひびく声が戻ってきました。夏休み中は、ご家庭で元気な声をひびかせていたでしょうか。特に、家庭学習をしている時、子どもたちの声が聞こえていたなら大変嬉しいです。それは、1学期の終業式に、次のような話をしたからです。

中学校は、教科によって教える先生が替わります。各教科の有名な先生に「勉強のしかたを教えてください」とお願いしました。すると、国語の先生も、英語の先生も、社会や理科や数学の先生も、同じ答があったのです。全く違う内容を教えるのに、勉強のしかたで同じ大切な方法がある。不思議ですね。その勉強のしかたとは、何だったと思いますか。それは、「声に出せ」と言うことでした。

国語の先生は「声に出して読むことが大事だ」と言います。つまり「音読」ですね。

英語の先生は「英語を声に出せば、苦手な子も分かってくる」と言います。

社会や理科や数学の先生も「復習しながら、声に出して読んだり書いたりすると頭に入る」と言います。

なぜ「声に出して」勉強することが大事なのでしょう。「声に出す」と、勉強ができるようになるのは、なぜなのでしょう。

それは、脳の仕組みに関係がありました。人には、6つの感覚・力があります。「見る」「聞く」「声に出す」「さわる」「味わう」「においをかぐ」の6つです。これを、できるだけ同時に行うと、脳が大切なことだと判断して、しっかり覚えるのだそうです。声に出して読めば、目で文字を見、口で声に出し、耳でそれを聞きます。3つ同時に使うことになり、しっかり頭に入るのです。

それだけではありません。声に出して聞かせれば、気持ちがあきうきします。やる気が出ます。気分が明るくなります。勉強が楽しくなって、よく分かるようになります。

また、あなたが「声に出して」だれかに聞かせれば、聞いている人も楽しくなります。勉強を頑張っているなあと、感心します。ほめてもらえます。

「声に出す」のは、いいことばかりなのです。

例えば読書なら、こんな「聞かせる声」を出せるとよいです。

(代表、2～3名に、音読を発表してもらおう)

明日から、夏休みです。夏休みの課題は、朝の涼しいうちに済ませましょう。その時、ぜひ「声に出して」勉強してください。読書も、さっき発表してくれた人のような「聞かせる声」で読みましょう。つまり、自分にも、そしてお家の人にも、「聞かせる声」で勉強するのです。きっとあなたも、お家の人も楽しくなりますよ。

夏休み明け、みなさんがどんな「聞かせる声」をひびかせてくれたか、お話を聞けるのを楽しみにしています。



声に出して勉強する。この大切さは、多くの研究者が主張しています。「家庭学習で子どもたちの声がひびくと嬉しい」というのは、努力が報われる学習方法だからです。お子様が声に出して勉強していたら、ぜひほめてあげてください。

学校でも、子どもたちの声がひびく2学期にしていきたいと思います。

学校評価アンケート 3者評価比較

児童・保護者アンケートと同じ項目を、職員も自己評価しています。その平均点の比較です。↑は昨年より向上。↓昨年より下降を表しています。(児童0.1・保護者0.2・職員0.2ポイント以上)

No.	評価項目	児童	保護者	職員	結果・分析
1	授業を工夫し、子どもに国語・算数・社会・理科等の力をつけているか。	3.8	3.3	3.5	○児童の満足度に比べ、保護者の満足度は低い。
2	子どもに、家庭学習の計画をやりとげられるよう指導・支援をしているか。	3.7 ↑	3.6	3.4 ↓	○児童は昨年より向上しているのに比べ、職員は下降している。
3	子どもに、郷土を愛し誇れる学習を行い、まとめる力をつけているか。	3.8 ↑	3.4	3.2	○児童は向上し高い満足度だが、職員は例年のように低いままである。
4	いじめや不登校の未然防止に努め、子どもが楽しく安心して過ごせる学校にしているか。	3.9	3.5	3.6	○3者とも、ほぼ満足している。
5	友達に思いやりをもって接し、優しい言葉掛けができるように指導しているか。	3.7 ↓	3.6	3.7	○3者とも、ほぼ満足している。児童がやや下降した。
6	体育授業の充実や運動の日常化によって、子どもの体力向上が図れるようにしているか。	3.7	3.6 ↓	3.7	○3者とも、ほぼ満足している。保護者がやや下降した。
7	学校と家庭の連携によって、「早起き・朝ごはん」の習慣が定着するよう指導しているか。	3.9 ↑	3.4 ↓	3.5	○児童は大きく向上した反面、保護者は下降している。

比較した成果

- 児童は昨年よりさらに高評価になった。特に「早起き・朝ごはん」が過去最高。
- 保護者は昨年前期よりやや下降したが、ほぼ例年並みの評価である。
- 職員も例年並みの評価。徳・体は満足がうかがえるが、知の評価が低めである。
- 3者とも 3.5 以上の高評価が多い。ただ、満足できない内容は3者によって異なる。

比較して確認したい内容

- 「授業で力を伸ばしたか」に関して、児童は高いのに保護者評価が低いのはなぜか？
- 「家庭学習」に関して、児童は向上傾向なのに職員は下降傾向なのはなぜか？
- 「郷土学習」に関して児童は高評価だが、職員はかなり評価が下がったのはなぜか？
- 「早起き・朝ごはん」は児童が過去最高、職員の見取り数値も 98%なのに、保護者は下降傾向である。この違いは、どこから生まれるのか？

課題と改善策

- ・「授業で力を伸ばしたか」に関して、児童は高いのに保護者評価が低いのはなぜか？
- ・保護者に、授業改善の努力を伝えるにはどうすればよいか。

◎児童の学力向上の自覚を、保護者にも伝えるようにする。テスト返却時の賞賛。ノートや板書をたよりで紹介。参観時の授業の工夫など、授業が見えるようにしていく。

- ・「家庭学習」に関して、児童は向上傾向なのに職員は下降傾向なのはなぜか？
- ・どのような家庭学習習慣を身に付けさせればよいか。

◎個に応じた課題を出し、家庭学習の計画を確実に実行できるようにする。時間の管理、計画立案能力等も鍛える。また家庭学習が授業で活用できるようにする。

- ・「早起き・朝ごはん」は児童が過去最高、職員の見取り数値も 98%なのに、保護者は下降傾向である。この違いは、どこから生まれるのか？

◎保護者の自己評価が厳しくなったのだろう。保護者の見取りを大切にする。その方が実態に近い。保護者が評価する方法、評価基準を示していきたい。

学校評価全体会・学校関係者評価委員会での話題と改善策

7月24日に学校職員による学校評価全体会、8月7日には学校関係者評価委員会が行われ、課題と改善策が話し合われました。その概要をお知らせします。知・徳・体の成果目標でどんな成果が上がったかの詳細は、9月1日の学校説明会で説明します。

	成果目標	結果
知	1 国語・算数・社会・理科のワークテストの学年平均点が85点を上回る。	1 国語・算数・理科は全学年達成 平均90点以上 社会は3学年達成 平均87点 評価：B
	2 児童が立てた家庭学習の計画を達成できる児童の割合が80%以上になる。	2 全学級80%以上達成 全校平均 92%達成 評価：A
徳	「自己安心感得点」「自己有用感得点」を目標数値以上にする。	自己安心感得点→95% 自己有用感得点→100% どちらも評価A
体	1 シャトルランの記録が県平均を上回る児童の割合が60%以上になる。	1 達成児童の割合 シャトルラン、53% 評価：B
	2 望ましい朝の生活習慣（早起き・朝ごはん）実行児童が80%以上になる。	2 達成児童の割合 98% 児童自己評価 100% 保護者評価 97% 評価：A

知・徳・体の課題と改善策

・知育では、「運動にばかり力を入れるのではなく、読み書き、計算にも力を入れてほしい。日記もただ書いているだけで終わるより、作文を習慣づけてほしい」にどう答えるか。

○日記指導の目的を伝える。ただ書かせているのではないという効果を示す。運動に比べ読み書き計算の成果は見えにくい。どんな取組をし、どんな成果が上がっているか、もっとアピールしていく。

・徳育では、「岩手の中学生の自殺が気になります。被害者になることはもちろんですが、加害者を作らせない取組を行ってほしい」にどう答えるか。

○いじめ防止として、アンケート・教育相談・全職員での指導等をしており、自殺予防にもなっている。それを継続して行く。職員も自殺予防教育を学び、保護者と連携していく。

・体育では、「保健学習・保健指導」終了後、行動変容に結び付けるためには、どうすればよいか。

○保健学習後の子どもの変容を見取り、ほめて、行動変容につなげる。事後指導、強調週間、学習内容の掲示等、子どもの意識を高めていく。

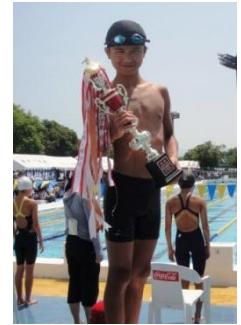
学校関係者評価委員会からのご意見

知育	○運動にばかり力を入れていると感じる保護者もいるようだが、そうは思わない。 ○複式学級があるにもかかわらず、学力向上にも成果を上げている。 ◎子どもたちのあいさつがよく、頑張っている姿が見える。さらに地域に関心を持ち、意欲的に地域に飛びこんで、自分の意見を言える子どもを育ててほしい。
徳育	○いじめ等はなかなか表に出ない場合がある。今後もより注意深く見守ってほしい。 ○子どもは元気に登校している。職員の一生涯懸命さも伝わってくる。 ◎海岸清掃で子ども・保護者・地域が触れ合った。そのような機会を活用してほしい。また、リーダーになれる子を育ててほしい。
体育	○体育の指導の成果が現れている。水泳大会の結果も感激した。応援も頑張ったと聞き、嬉しい。 ◎体力向上はすべての生活につながっていく。今後も継続し、上を目指してほしい。 ◎生活習慣に関しては、保護者の意識が高まるようPTAで考えてほしい。
その他	○夏休み中、ラジオ体操の様子を見たが、子どもだけでなく保護者のあいさつもよかった。このような大人の行動が、子どもをよくしているのだろう。 ○早起き・朝ごはん等は、保護者と一緒に取り組まなければならない。ただ、学校に来てほしい保護者はなかなか来てくれない。PTAで対応を考えるべきである。 ○自転車で狭い歩道を走るのは危ない。交通量の多い道路・見通しの悪い裏の細い道など、交通事故に合わないよう、学校と保護者で取り組んでほしい。

入賞どくどく！佐渡市小学校親善水泳競技大会

8月4日。金井運動公園プールにおいて、上記の水泳大会が行われました。ほとんどの子が自己ベストを出すだけでなく、優勝トロフィーを3本も獲得しました。応援にも力が入り、練習の成果を実感した大会でした。

6年男子	50m 自由形	8位	近藤
5年女子	50m 自由形	6位	梶田
6年男子	100m 自由形	8位	斉藤
6年女子	100m 平泳ぎ	8位	本間
5年女子	100m 平泳ぎ	3位	近藤
6年男子	50m 背泳ぎ	1位	渡邊
5年女子	50m 背泳ぎ	1位	近藤
5年女子	50m バタフライ	5位	石井
6年男子	200m 個人メドレー	7位	渡邊
5年女子	200m 個人メドレー	3位	近藤
5年女子	200m 個人メドレー	4位	近藤
5年女子	200m メドレーリレー	3位	
5年女子	200m リレー	1位	



みんなでワイワイ。子ども育成会のキャンプ



7月11・12日と八幡子ども育成会のキャンプが行われました。今年当初から集落センターと体育館での実施予定。テント張り、食事作り、肝試し、花火大会と、普段できない体験で、多くのことを学べたようです。

修学旅行や民泊体験の発表



5・6年生が1学期にまとめた内容を互いに発表し合いました。クイズや質問など、体験したことを面白く伝える工夫がいっぱい。どの子も自信をもって説明していました。

八幡小であいさつ運動



今年から各校輪番で5つの小中学校を回り「あいさつ運動」に取り組んでいます。7月10日は、八幡小学校。小中学生の元気なあいさつが響きました。

佐渡っ子画廊収録



8月10日の放映、ご覧いただけただでしょうか。1学期中に、上のように収録していました。2学期はさらによい発表の場が用意されています。

9月1日は「学習参観・学校説明会・学級懇談会」です。学習参観は、夏休みの体験発表などが行われます。学校統合に関して、市教委からこれまでの経緯の説明もあります。ぜひご来校ください。